

平成29年度地方創生関連交付金を活用する事業の報告について  
(地方創生推進交付金事業分)

1. 地方創生推進交付金の活用

<交付金の趣旨>

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

<対象事業>

- ①先駆性のある取組(官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成)
- ②先駆的・優良事例の横展開(地方創生の深化のすそ野を広げる取組)
- ③既存事業の隘路を発見し、打開するための取組

2. 草津市における「地方創生推進交付金」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	平成29年度 予算額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業の 位置付け(戦略目標/戦略 プロジェクト)	重要業績評価指標(KPI)		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価			
						指標	目標値	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見		
1	(1)事業名 住む人も、訪れる人も、健幸になれるまち「健幸都市くさつ」実現プロジェクト  (2)担当課 企画調整課、草津未来研究所、ごみ減量推進課、健康福祉政策課、地域保健課、スポーツ保健課  (3)計画期間 平成29年度～平成31年度	25,188,000	【交付金】 12,594,000 【補助率】 1/2	<p><b>【事業概要】</b> ・本市が抱える特有の課題と目指すべき将来像を実現するため、住む人や訪れる人が草津市で「健幸」を感じることができ、まちそのものが「健幸」であり続けられるよう、「目指せ、健幸都市くさつ! ～住む人も、訪れる人も、健幸になれるまちを目指して～」を基本理念として「草津市健幸都市基本計画」を平成29年3月に策定し、市の総合政策として「まち」「ひと」「しごと」を切り口に健幸都市づくりに取り組む。</p> <p>(1)地域の実情に応じた健康づくりの推進による「健幸都市くさつ」の実現 (2)高齢期に入る前からの健康づくり推進による「健幸都市くさつ」の実現 (3)生涯輝けるまちの構築に向けた取組の推進による「健幸都市くさつ」の実現 (4)地域資源を活かした健康づくりの推進による「健幸都市くさつ」の実現 (5)産学公民連携とその仕組みづくりの活用による「健幸都市くさつ」の実現 (6)「健幸都市くさつ」の実現に向けたデータ分析の推進</p> <p><b>【事業内容】</b> ・健幸都市くさつ啓発事業 ・健康のまち草津モデル事業 ・3010運動推進事業 ・生涯活躍社会構築検討事業 ・草津版ヘルスツーリズム調査検討事業 ・草津川跡地公園健幸イベント開催事業 ・ウォーキング大会開催補助事業 ・アーバンデザインセンター運営事業</p>	<p>戦略目標(2) 力強い経済活動や多様な主体の連携が交流と活気を生み、まちが躍動する</p> <p>戦略プロジェクト⑤ 多様な交流の促進</p> <p>戦略目標(3) 地域課題の解決が図られ、健康で安心して末永く暮らせる</p> <p>戦略プロジェクト⑦ 健やかに暮らせるまちづくり</p>	(1)「健幸都市くさつ」の実現をアシストする健幸づくりツアーの売上高 現状値:H28 0円	H29 270,000円 H31 810,000円								<p>事業がKPI達成に「有効であった」もしくは「有効とは言えなかった」のいずれかで評価</p>
						(2)草津市が「健幸なまち」であると思う市民の割合 現状値:H28 38%	H29 40% H31 50%								<p>事業効果は、KPIの達成度に基づき、事業担当課が評価</p>
						(3)健幸都市宣言賛同企業・団体数 現状値:H28 78か所	H29 98か所 H31 140か所								<p>事業について、「評価できる点」もしくは「何が良くなかったのか」、「考えられる原因、改善策は何か」といった意見があれば記載</p>
2	(1)事業名 ピワイチ推進プロジェクト ～「ピワイチサイクリングランド」を自転車観光の聖地へ～  (2)担当課 商工観光労政課(滋賀県、大津市、草津市、守山市、高島市、東近江市、米原市による連携事業)  (3)計画期間 平成29年度～平成30年度	【全体分】 216,450,000 【草津市分】 7,000,000	【交付金】 3,500,000 【補助率】 1/2	<p><b>【事業概要】</b> ・自転車によるびわ湖一周「ピワイチ」をはじめ、県内各地を自転車で巡るため、気軽に自転車を利用できる環境、安全・安心・適正に自転車を利用する環境、観光資源の魅力向上および、これらを総合的に発信する情報提供環境の整備が進み、滋賀を気軽に自転車で観光する文化が浸透することにより、交流人口や宿泊客数の増加、地域経済の活性化へ寄与している姿を目指す。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・サイクリスト受入環境整備事業(公共施設・宿泊施設向け) ・ピワイチ関連イベント事業 ・サイクリングマップ作成事業</p>	<p>戦略目標(2) 力強い経済活動や多様な主体の連携が交流と活気を生み、まちが躍動する</p> <p>戦略プロジェクト⑤ 多様な交流の促進</p>	(1)ピワイチ推進による日帰り・宿泊客数 現状値: H27 52,000人	H29 91,200人 H33 150,000人								
						(2)日帰り客の増による経済波及効果 現状値: H27 158,000,000円	H29 261,200,000円 H33 416,000,000円								
						(3)宿泊客の増による経済波及効果 現状値: H27 456,000,000円	H29 876,800,000円 H33 1,508,000,000円								
						(4)日帰り・宿泊客の増加による経済波及効果 現状値: H27 614,000,000円	H29 1,138,000,000円 H33 1,924,000,000円								

※平成30年6月(予定)に、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、事業終了後の重要業績評価指標(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただく。